



活動報告

リ社 環境整備強化プロジェクト

「気づきの決め手は実習」

「きれいになる驚きと感動を味わう」
介護用紙オムツのメーカー、㈱リブド
ウコーペレーションさんの環境整備のお
手伝いはじめました。

同社では、すでに十年以上前から、環
境整備に取り組んでいるのですが、それ
をさらに充実させるために、今回あらた
に強化プロジェクトを組みました。

まずは徳島県にある三野工場から着手。
毎朝全員でそうじしているだけあって、
工場内は一見するときにきれいです。

ところが、よく見てみると、普段は目
が届かない部分に汚れやホコリがあつた
り、不要物が放置してあつたりします。

社員のみなさんは、それぞれに真摯に
取り組んでいる姿勢が見て取れますが、
残念ながら徹底されていないのです。

その原因はどこにあるのか。

「何のために取り組むのか」という目
的についての理解不足。そして、具体的
にどのように行えばよいのか、という方
法に関する知識・経験不足が原因だと思
います。ですから、それらを改善するこ
とを重点に置きました。

まず活動の中心となるプロジェクトメ
ンバーおよび各現場のリーダークラスの
人たちに講義を行い、「環境整備は会社の
ためにやるものではない。自分のために
やるものである。」ことを説きました。

そうじをすれば、自分も気持ちがいい
し、周りも気持ちがいい。面倒くささを

克服して取り組むことで、自分が人間と
して成長でき、さらに周囲の人間関係も
良くなる。

環境整備は決して強制的な手法で取り
組ませるべきなく、各人が自主的に取り
組む風土を作るのが目標です。

とはいえ、そのような趣旨を何回講義
で説いたとしても、頭だけで理解するに
は限度があります。

そこで、今プロジェクトにおいては、
実習を数多く行うことにしました。

まずはトイレそうじ実習です。
はじめに私がデモンストレーションを
行ってやり

方を示し、プロジェクトメン
バーに実践してもらいました。
一見する
ときれいな
トイレも、便
器に水アカ
による黒い
筋がついて
いたり、水濾の裏に黄色い尿石がこびり
ついていたりします。それらをスポンジ、
ナイロンタワシ、サンドメッシュなどを
使って、丁寧に落としていきます。



トイレそうじ実習

やりながら、あちこちで「うわっ、こ
んなに汚れているのか!」「わあ、こんな
にきれいになるんだ!」という声が上が
ります。みなさん、夢中です。

実習後の感想では、「裏があれほど汚れ
ているとは気づかなかった」「きれいにす
るとはどういうことか分かった」「きれい
になると楽しくなる」「もっときれいにし
たい」などの意見が出ました。

人は、頭を使うと同時に、手足を使っ
て汗をかくことで、学ぶのだと思います。

② N社 環境整備の取り組み

「成果が見えると楽しくなる」

「各人の自主性を尊重して」

前号でもご紹介した飲食業のN社のセ
ントラルキッチン（CK）の環境整備の
取り組み。私の予想を超えて、どんど
進んでいます。

先日私が訪問した際には、朝、パート
さんを含めたスタッフ全員で、包装用の
機械をそうじしていました。聞けば、外
側はそれなりにそうじはしてきたもの
パネルを開けたりして内部のそうじをす
るのは、機械導入以来（十五年ほど）初
めてではないか、とのこと。

みなさん真剣な表情で、黙々と機械を
磨いておられます。「きれいになります
ね」と声をかけると、「気持ちいいです
ね」と笑顔で答えてくれました。

パートさんたちは、主婦の感覚で、や
はりきれいにすると気持ちがいい、とい
うことを感じておられるのでしょう。

同社の取り組みの特長は、各人の自主
性を重んじるということです。同CKのセ
ンター長は、「最終的には、何の取り決め
なくとも、みんなが自主的にそうじする
風土を作りたい」と言います。

毎月一回、私も参加してプロジェクト
の会議を行っています。会議では、各グ
ループの現在の取り組み状況を報告して
もらい、現場の確認と合わせて、今後の
取り組みについて意見交換を行います。

トイレや階段、休憩室などの共用部分
については、当番表を作って、そうじを
しています。

ただし、その
当番表には、
「何日に誰
が行うのか
が明記されて
いません。当

トイレそうじ当番表

番表を見て、「今日は自分だな」と思った
人がそうじするのです。出張の多い人な
どは、出社するときにまとめて三日間連
続でトイレそうじを行う人もいます。

取り組みをはじめ前のトイレは、か
なり汚れていました。しかし取り組み三
ヶ月目に入った今では、ヒカヒカになり、
時間が余るようになってきました。報告
によれば、時間が余ったスタッフから、
「他の人を手伝ってもいいですか」との
問いがあり、上司の方は「もちろんいい
ですよ。ぜひ手伝ってください」と答え
たとのこと。

週に一回、CKの周辺をそうじしてい
るのですが、最近では、センター長が「ど
こをやろう」と言う前に、各人がそれぞ
れ場所を決めて取り掛かるのだそうです。
また、以前から「つゆ」に若干の「お
り」が混入することがあり、原因がよく
分からなかったのですが、つゆを封入す
る機械を分解してみたところ、注入口に
カスが溜ま
っているこ
とが分かり、
それをそう
じしたとこ
ろ、「おり」
はなくなっ
た、とのこと。



つゆ封入機

会議で、そうした報告を聞くのはとて
も嬉しいものです。プロジェクトメンバ
ーの口からは、「している所としていい
所の違いがハッキリ分かるので、汚いと
ころをきれいにしたいという気持ち湧
いてきます」「外部のトイレを借りるとき
に、自分が汚してはいけない、という気
持ちになります」などという感想を聞く
こともできました。

自主性を重んじるトップの気持ち
が、そのままスタッフに伝わっています。

このニュースレターは、今までにお世話になった方々に送付しています。今後送付をご希望されない場合には、大変お手数ですが、巻末連絡先までご連絡ください。

連載

企業再建の現場から

税金は逃れられない

〈金融債務と税金はまったく別〉

再建を支援しているA社の資金繰りが厳しく、固定資産税を払えない、というので、経理担当者に同行して、市役所の収納課を訪ねました。

当方は分割して五、六年かけて納付することを提案したのですが、収納課担当者に言下に否定されてしまいました。

「分割納付は、年度内完納が前提です」「分納が長期にわたれば、新たな年度の税金も滞納になり、雪だるま式に滞納額が増えていきます」「年度内完納できないければ、法律に則って強制的に処分します」とのこと。

「強制的に、と言いますか？」と尋ねると、「まず、所有不動産を差し押さえます」「不動産を競売にかけて換金します」「抵当権がついて競売ができない場合には、次の段階として、御社の売り先に対して売掛金の供出を要求します」「売り先がそれを拒否すれば、民事裁判を起こし、裁判所の命令により、売り先の預金口座を差押えます」「売り先が一般消費者の場合、市が直接その消費者から代金を徴収することもできます」とのこと。

担当者は、極めて事務的で、淡々と説明してくれます。感情や思い入れがない分だけ、よけいに怖さを感じます。

売掛金を抑えられてしまったら、もう商売を続けることはできません。

金融債務については、先方もビジネスと割り切っていますし、色々な債務圧縮策がありますが、どうも税金については、逃れる方法はないようです。

「税は国家なり」と言います。再建にあたって、税金を甘く見てはいけません。

おそうじ名言集

N社社長の決意表明文

「そうじの力」は大きな意味がある

〈N社社内報より転載〉

商売をするにあたって、大切な考え方はいくつかありますが、環境整備もその一つです。特に「清潔である」ことはとても大切なことであると、常々思っていました。

当社は、お客様が口に入れる「食べ物」を作り、提供し、商売を営んでいるのですから、「清潔であること」はとても大切です。しかし、現実には工場も、店舗も、私の考える清潔とは差があります。今までこれを何とかしなければと考えていましたが、商工会議所様とのご縁で、小早先生にお会いできました。先生のお話をうかがい、あらためて整理、整頓、清掃、清潔、躰（5S）の大切さを力強く感じました。「やらなければならぬ」と強く思いました。

そうじの仕方に意志を入れて実行することで、職場がきれいになり、環境が整備されるだけでなく、創意工夫が生まれます。仕事の仕方も変わります。考える習慣も身につきます。また、職場の一体感が強まり、「お互いさまの心」や「感謝の心」が育ち、他人を思いやるあたたかみのある調和のとれた職場環境を作ることができると考えています。

環境整備の力は大きいと考えています。本来はセンターだけでなく、全店で取り組むところですが、今年はセンターで取り組むこととしました。やる以上は、きちんとやります。みんなの力でやりぬきましょう。

（本誌表面下段で紹介した飲食業のN社がCKで環境整備を始めるにあたって、N社長が作成した決意表明文です）

お知らせ

◆(仮称)高崎リーダー経営者道場

今までここ高崎で、地元の経営者仲間たちと一緒に、様々な経営の勉強会を実施してきました。

このたび、それらの勉強会を統合し、ひとつのまとまったカリキュラムとして開催していくことにしました。

目的は、「志ある経営」を学び、それを自社で実践するのみならず、取引先や近隣企業にもアドバイスできるリーダー経営者を輩出することです。

手作りの自主的勉強会です。ぜひお気軽にご参加ください。

尚、北三公園のトイレそうじは、この勉強会の環境整備実習に統合します。

対象者：経営者、後継者、起業志望者
内容：①経営計画書に基づく実践発表
とそれに対するアドバイス、

②環境整備実習 他
講師：須田知身(事業再生財団理事長)
小早 祥一郎 他

参加費：無料(食事代等は実費)
時間割：前日夕方集合、当日正午解散
開催日程：十二月七日(火)～八日(水)
二〇一一年一月四日(火)～五日(水)、
二月一日(火)～二日(水)、
三月一日(火)～二日(水)

ご希望の方には詳しい資料を送付します。

◆ラジオに出演します

十二月十日(金)PM二時四十五分
TBSラジオ『日本列島ほっと通信』
テーマ「掃除できれい」

◆「そうじの力」解説DVD頒布中

実際に私がお手伝した事例を題材に「そうじを通じた経営改革」を解説したDVDを無料で頒布中です。

株式会社そうじの力

・そうじを通じた経営改革・人材育成支援
・企業再建・事業継承・後継者育成支援
(コンサルティング、研修)

当社は、志(理念)を持った人と企業を応援するため、諸々の支援活動を行っています。

編集後記

◆ツワモノ?いえ、あなたが...
新幹線で『会社の買い方、上場の仕方教えます』という本を読んでいます。下りる間に、隣に座っていたおばさんが、私を見て、「やはり今が買い時でしょうかね?」と尋ねます。

「は?」と、わけの分からぬ私に構わずおばあさんは、「どんな銘柄が買いでしょうか?」と尋ねます。どうやら私のことを、株式投資の達人と勘違いしておられるようです。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

「いや、私は株のことはとんと...」「かれこれ十五年ほど株をやっておりますが、なかなか難しいものですね」私はそのおばあさんに、持っていた本を差し上げて、電車を下りました。

そうじの力だより 第65号
2010年12月発行
発行者:小早 祥一郎
(株)そうじの力 代表取締役
シフト・アシスト研究所代表
連絡先:〒370-0078
群馬県高崎市上小鳥町 373-6
TEL&FAX:027-315-2334
携帯電話:090-3906-3906
メール:kohaya@gmail.com